



**木を植えることからはじまる天空の森の芸術祭
「フォレストアートフェスティバル in ラダック」
キックオフイベント**

とき 2023年5月10日（水）18:30~20:30

会場 貝印株式会社1階「カイハウス」

主催 NPO 法人ウォールアートプロジェクト

協力 貝印株式会社

問い合わせ先

NPO 法人ウォールアートプロジェクト

<http://wallartproject.net>

info@wafes.net

090-2328-0230(おおくにあきこ)

北インド、ヒマラヤの山々に抱かれるラダック地方。標高 3800 メートルに位置するマトー村は、マトー山頂に積もる雪が地下に深くもぐり、そこかしこに小川となって湧き出ている美しい緑のオアシスです。その村名の語源は、ラダック語で、まさに「たくさんの幸福」を意味しています。

この村で 2017 年から学校を舞台にした芸術祭を開催し、アートの力を伝えてきた NPO 法人ウォールアートプロジェクトが、植樹とアートを融合した新しいアートプロジェクトをスタートします。

木は植えて終わりではありません。最低でも 2 年間は最初の生長を見守る必要があります。同時に、人智を超えた森の尊さを想い、森の恩恵を慈しむ「場」をつくるのがこのプロジェクトの試みです。

私たち人間にできることは少ないかもしれないけれど、外から来た人と現地の人が協同し、全力でこしらえるアートをそこに出現させて大地とアースし、関わってみる。フォレストアートフェスティバルは、「社会彫刻」としての新しい芸術祭です。

2023 年と 2024 年に開催予定ですので、今年、来年の参加希望者はもちろん、日本から見守りたい方にもぜひ、ご参加いただきたいキックオフイベントです。

「フォレストアートフェスティバル in ラダック」キックオフイベント

●とき 5 月 10 日（火）18:30~20:30

●ところ 貝印株式会社 1 階「カイハウス」

千代田区岩本町 3-9-5(都営新宿線岩本町駅徒歩 1 分)

●登壇者 スカルマ・ギュルメット (NPO 法人ジュレー・ラダック代表)

香川大介 (画家)

スギサキハルナ (美術家)

RRyusuque (ハンドパン奏者)

●参加費 無料

●参加予約・問い合わせはツォモリリ文庫まで

Email info@tsomoribunko.com

Tel 03-6338-1469 (月・金・土・日 12:00~18:00 受付)

●主催 NPO 法人ウォールアートプロジェクト <http://wallartproject.net>

●協力 貝印株式会社

タイムテーブル

18:00 開場 ウェルカムチャイとウェルカムミュージックでお迎えします。

18:30 着席 貝印株式会社よりご挨拶

18:35 「フォレストアートフェスティバル (FAF) について」 by ウォールアートプロジェクト

18:55 質疑応答

19:00 スカルマ・ギュルメットさんのオンライントーク「ラダックはどんなところ？」

*ラダックからの中継のため、電波の状況が不安定な可能性があります。

19:20 香川大介、スギサキハルナのアーティストトーク

19:40 RRyusuque ミニトークと演奏会

20:00 ラダックのソウルフード“トゥクパ”試食会 & フリートーク

*My tree プログラムへの参加申し込みデスク開設

*インドの手仕事「ツォモリリ」展示販売会 (収益はプロジェクト運営費となります)

20:30 おひらき

20:45 閉場

「フォレストアートフェスティバル (FAF) in ラダック 2023」概要

ラダック滞在日程 2023 年 6 月 6 日~16 日

主催 特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト

共催: Ladakh Autonomous Hill Development Council, Leh

協賛: 貝印株式会社 ツォモリリ文庫

有限会社ブルーベア 協力: 曹洞宗福島県青年会

問い合わせ・連絡先 info@wafes.net 090-2328-0230(おおくにあきこ)

自分の木がラダックの大地も緑の森に変える！ 日本にいながらラダックでの森づくりに参加する My Tree プログラム

ラダックに行けなくても、苗木を贈り、システムをサポートし、現地の森で My Tree が育つ様子を見守っていただくプログラムです。

ラダックでは、ほとんど CO2 を排出しない昔ながらの生活が営まれているにもかかわらず、温暖化の影響で氷河が後退し、地下水脈が変動し、遊牧や農業など代々続く生業が危機に直面しています。冷たい砂漠と言われている乾燥地帯のラダックですが、緑のオアシスの下には、水脈があり、それが、作物を育て、家畜を育てることを知っていて、緑をととても大切にしています。昔から木を育てることが上手なマトー村の人たちとともに、森を育ててみませんか？

My Tree プログラムでは、6つのコースを用意しています。

個人 A コース 1 口 3,000 円 灌漑設備や人件費など森の整備のサポート

個人 B コース 1 口 5,000 円 My Tree1 本 + A と同様のサポート

個人 C コース 1 口 10,000 円 My Tree3 本 + A と同様のサポート

団体 A コース 1 口 10,000 円 灌漑設備や人件費など森の整備のサポート

団体 B コース 1 口 30,000 円 My Tree3 本 + A と同様のサポート

団体 C コース 1 口 100,000 円 My Tree10 本 + A と同様のサポート

特典

1. サポートしてくださった方全員に木の生長をお知らせするメールマガジンを配信します。
2. My Tree にあなたのお名前 / 団体名を付します。素材は木や石など自然に還るものを考えています。画像で報告をします。
3. My Tree プログラムのウェブページにお名前 / 団体名を掲載します。

My Tree プログラム参加方法

- 1) サポート費を納入（銀行振込、または直接納入）

振込先 みずほ銀行 成城支店
(普) 1170797 トクヒ) ウォールアートプロジェクト

- 2) E メールまたはお電話にて以下の内容を伝えてください。

- ①お名前
- ②添付画像などが受け取れる E メールアドレス
- ③振り込んだ金額とサポートした内容
- ④ウェブページに掲載するお名前
- ⑤ My Tree のネームプレートにつけるお名前 (個人 B・C・団体 B・C の方)
例)
①名前 仙川ツォモリリ子 ②E メール info@〇〇〇.com ③2 万円 個人 C ニロ
④仙川ツォモリリ子 ⑤tsomoriri

申し込み・問い合わせ連絡先

E メール info@wafes.net (担当 浜尾和徳)
電話 03-6338-1469 ツォモリリ文庫 浜尾和徳
(月・金・土・日 12:00~18:00 受付)

登壇アーティストプロフィール

香川大介 Daisuke Kagawa

福岡県福津市出身、日光市在住。画家。フランスでのスケートボードデザインや、絵画収入による日本徒歩縦断などを経て現在は栃木県日光市在住。

絵画に限らずあらゆる創作の場として、築100年の古民家を自身で修復し2017年に生活・工房・店舗の複合スペース『吉見屋／香川大介美術館』を設立。形にとらわれない“創作”そのものを中心とした生活をおくっている。日光明峰高等学校美術教師。著書に画集『風の22神像』。

主な展覧会

2022 “From over Pluto” 香川大介展 牧歌空間（栃木県日光市）

2021 展覧会『海峡わたる森』関門海峡ミュージアム（福岡県／北九州市）

2020 “ウォールアートフェスティバルふくしま in 猪苗代 2020” 参加。福島県立猪苗代高校美術室内に壁画を滞在制作（福島県猪苗代町）

2020 “鎌鼬の里芸術祭 2020” にて公開制作・展示（秋田県／羽後町）

2020 “一陣の” ツォモリリ文庫（東京都調布市）

2019 “秋分けのまればと” パークホテル東京（東京都港区）

2018 グループ展“漆と絵師展” Artisans’ Gallery（インド／ムンバイ）

2015 アートプロジェクト“Wall Art Festival in Kagaria” 学校にて壁画滞在制作（インド／ビハール州）

スギサキハルナ Haruna Sugisaki

美術家 1994年横浜生まれ大磯在住

2017年東京造形大学絵画科卒業。卒業後はフィールドを海や山に移し、人間の営みと自然の生命力の交わる接点に着目しその土地での登山や料理など風土に根ざした体験から自然の力強さや命の循環を感じ取り表現。☑代表的な作品に、訪れた地で採取した土や植物、煤など自然由来の顔料を使用し市民や学生と共に壁画を描く《土遊び》や、廃材を収集しその土地の道祖神を作る《精霊づくり》などがある。

主な展覧会

2023 “偶然の着地” ツォモリリ文庫（東京都調布市）

2022 “ノームの庭” gallery yolcha（大阪中崎町）

2022 “里山を見守る者たち” 横浜歴史博物館（神奈川県横浜市）

2021 “土の産声” 益子 見目陶苑（栃木県益子町）

2020 “ハコニワウチュウ” ツォモリリ文庫（東京都調布市）

2019 “海の神さまと山の神さま” 屋久島 EKAM（鹿児島県屋久島）

2019 “山の踊り” 西会津国際芸術村西（福島県西会津町）

2019 “海の子供” ツォモリリ文庫（東京都調布市）

2018 “土の声” 芋乃市場（神奈川県横浜市）

RRyusuque

パーカッショニスト。音楽活動を中心に、踊り、絵、刺繍、料理、農など多彩な創造活動続けるアーティスト。2010年よりアジア、南米を巡り、輝く命のエネルギーを音楽へと反映させる。日本の拠点は屋久島に置き、大自然の中で自給自足の生活をおくる。☑その後3年間は南米で、路上を中心にレストラン、ホテル、バーなどで演奏活動をしながらかつら。カホンははじめとする打楽器、バラフォン、インディアンフルートなど様々な民族楽器を演奏する中、ハンドパンと出会う。

2018-19年 ハンドパンを携え、ヨーロッパを巡る。その流れる風のような穏やかな音色は、不思議とボヘミアンな雰囲気醸し出し、聴くものすべてを非日常の音楽の旅へと導いていくことで知られる。

現在日本でもトッププレイヤーの1人として認識され、世界中のハンドパンメーカーから楽器の提供を受けている。

2021年より拠点を高知県に移して活動中。